

視察報告書

2020年4月30日

府中市議会議長 様

会 派 名 市民クラブ

日 時	2020年2月13日（木曜日）
視 察 先	徳島県海部郡海陽町
視察項目	阿佐海岸鉄道 DMV 導入について
参 加 者	水田豊 土井基司 芝内則明
視察内容	<p>今後府中市の公共交通の参考とするために調査に赴いた。 質問事項は以下のとおり。</p> <p>①阿佐東線 DMV 導入の経過 ②運営体制 行政と第3セクター（阿佐海岸鉄道、地元との関係など） ③DMV（デュアル・モード・ビークル）とは、 ④利用見込み など</p> <p>阿佐海岸鉄道（阿佐東線）は、第3セクターで運営をされている。沿線は少子高齢化が進み利用者が減少して、維持管理費のほとんどを行政負担で運営をしている現状となり、徳島県の協力を得て「バスを線路に走らせる」DMV 運行を決めた。このDMVは、JR北海道が開発に着手してきたが、専用線区が必要等の国の条件もあり休止していた。阿佐東線を単線の高架であるため回収コストは抑えられことから実現をした。「DMV 導入」の目的として、①地域の活性化に貢献として、車両自体が観光資源になることから「新たな人の流れ」をつくり観光振興に期待している。②地域公共交通の維持・充実に貢献として、鉄道とバスの一体的な交通体系の構築は、高齢化が進む阿佐東地域に最適であり、DMVは、燃費が良く、維持費の削減ができ経営改善ができるとしている。③防災面の強化として、DMVは大規模な災害発生時において、残った線路と道路をつなぐことで「交通機能の維持」が図れ、被災者支援を迅速に行うことができるとしている。DMVの運行開始をまち全体で観光振興を市民が進めている。6次産業活性化をはじめ、お土産・広報等に取り組みが進められている。</p>
所 感	<p>府中市の府中～三次間を検討してみてもと思えるが、実際の条件を考えると阿佐東線であったから出来たと感じた。</p>

視察報告書

2020年4月30日

府中市議会議長 様

会 派 名 市民クラブ

日 時	2020年2月14日（金曜日）
視 察 先	高知県室戸市 むろと廃校水族館
視察項目	「むろと廃校水族館」の運営等について
参 加 者	水田豊 土井基司 芝内則明
視察内容	<p>今後公共施設の整理を進めていかなければならない中で、廃止された施設をどのように活用するのかの参考とするために調査に赴いた。</p> <p>質問事項は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none">①開設に至る経過②運営体制 行政とNPO法人、地元との関係など③利用状況 入館者数など④利用見込み など <p>運営する法人はもともとウミガメの生態を研究する団体で、室戸市にも研究拠点を置いていた。標本数が増え保管場所の確保と、室戸市で活動を続けるかを悩んでいたところ、廃校の活用案が募集されたので水族館での活用を提案した。</p> <p>当初1年目は4万人の目標だったが、大きく上回る17万6千人の来場があった。2年目も2万8千人の目標だったが、14万人を超える見込みとなっている。国道沿いで、高速道路がないことでむしろ素通りが少ないことが来場者につながっている。</p> <p>徹底した経費節減を進めていることで、運営費はすべて入館料で賄っている（委託料は0円）。人件費は研修生を多く受け入れることで浮かしている。展示する魚は、近所の漁港から不要な魚を譲り受け、そのほかのイベントなどでも連携している。</p> <p>説明後施設を見学したが、お金をあまりかけずに来館者を楽しませる工夫が随所に見受けられた。跳び箱を改造した水槽や本棚、手洗い場をそのまま使ったオープンな水槽など。</p>
所 感	<p>廃止された施設をどのように活用すれば成功するのかについて伺ったが、成功している道の駅と同様、行政が「口も金も出さない」のがうまくいく秘訣だと感じた。</p>